別紙３

女性活躍推進に向けた課題確認表

（１）　女性労働者の活躍状況

以下の項目について数値を記入してください。

①採用者に占める女性比率（※）（　　　％）及び労働者に占める女性比率（　　　％）

※直近の事業年度の女性の採用者数（中途採用含む）÷直近の事業年度の採用者数（中途採用含む）×100　※の把握が難しい場合は、「労働者に占める女性労働者の割合」のみ記載

②男女の平均継続勤務年数の差異

男性の平均勤続年数(　　　年)、女性の平均勤続年数(　　　年）

女性の平均勤続年数÷男性の勤続年数×100＝平均勤続年数に係る男性に対する女性の比率（　　　％）

③労働者の各月ごとの平均残業時間数（最低３カ月は記載すること）

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 |
| 時間 | 時間 | 時間 | 時間 | 時間 | 時間 |
| 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
| 時間 | 時間 | 時間 | 時間 | 時間 | 時間 |

※計算方法：「各月の対象労働者の（法定時間外労働＋法定休日労働）の総時間数の合計」÷「対象労働者数」

④管理職（課長以上で役員を除く）に占める女性比率 （　　　％）

⑤男女別の育児休業取得率及び平均取得期間

女性の育児休業取得率（　　　％）※１　男性の育児休業取得率（　　　％）※２

育児休業の平均取得期間（　　　　　）※３

※１「女性労働者のうち育児休業をした数」÷「女性労働者のうち出産した数」×100

※２「男性労働者のうち育児休業をした数」÷「男性労働者のうち配偶者が出産した数」×100

※３「直近の事業年度に育児休業を終了した労働者の育児休業の取得期間の合計」

　　÷「直近の事業年度に育児休業を終了した労働者数」×100

（裏面に続く）

（２）　課題分析

（１）で把握した状況から、女性活躍を推進するうえでの自社の課題を1つ選び分析してください。

|  |
| --- |
| 〈例〉　○○の割合が女性の方が低い、労働者の長時間残業が常態化している 等 |

（３）　取組内容

（２）の課題の解決に向けて行う（又は行っている）取組を記載してください。

|  |
| --- |
|  |